

進路室通信

令和2年
6月5日(金)
発行
進路指導部

緊急事態宣言の解除に伴い、今月一日よりH Rを二つに分けて登校を再開しました。生徒の楽しい姿にこちらも嬉しい心が緩みそうになりますが、「そこは心を鬼にして」と始業前朝の打ち合わせで金子教頭先生が職員に告げたこの言葉を肝に銘じて感染防止に努めます。

感染防止につきましては、ご家庭に協力いただいている検温や学校での三密防止と共に、午前、午後それぞれS H R終了後に全教員で教室やトイレ等を消毒しています。せっかく再開した学校、再び休校になることがないよう対策を続けていきます。

休校課題と教科書

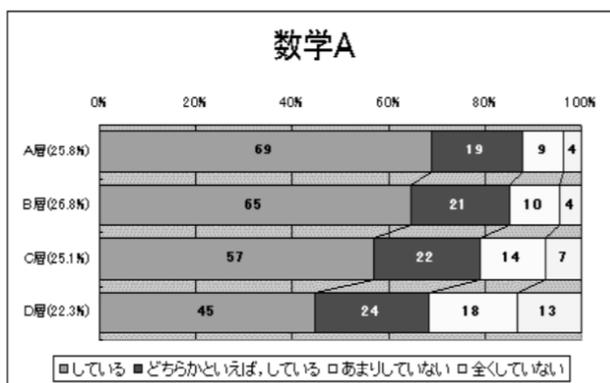
令和2年度が始まるとすぐに休校となり、4月の課題は郵送で生徒宅へ配送しました。実はその課題をつくるにあたり、職員間で確認した事項がありました。教科書のことです。2, 3年生は教科書を購入しましたが、それを自宅に持って帰っているかどうかということです。結局持ち帰っていない生徒が相当数いることが分かり、実態を踏まえて課題を出すことになりました。一昨年でしたでしょうか、小中学生の学校へ持って行く荷物が重いと問題になったことがあります。その是非はともかく、嘗て「全国学力・学習状況調査」の生活・学習習慣に関する質問に、「学校に持って行く物を前日か、その日の朝に確かめていますか」という問いがありました。この調査の中学校数学Aについて正答率の上位から25%ずつA~Dの4つの層に分け、質問紙への回答状況を比べてみると下のようなグラフになります。

す。明らかに相関関係があり、A層(上位)ほど準備をする割合が高いことがわかります。

小中学生と高校生の違いはありますが、学習に対する意識の差は学習成果に影響してはいないでしょうか。教科書を持ち帰らない生徒は、家庭で持ち物を確かめることすらできません。

全国学力テスト中学校質問紙の集計結果

学校に持って行く物を前日か、その日の朝に確かめていますか



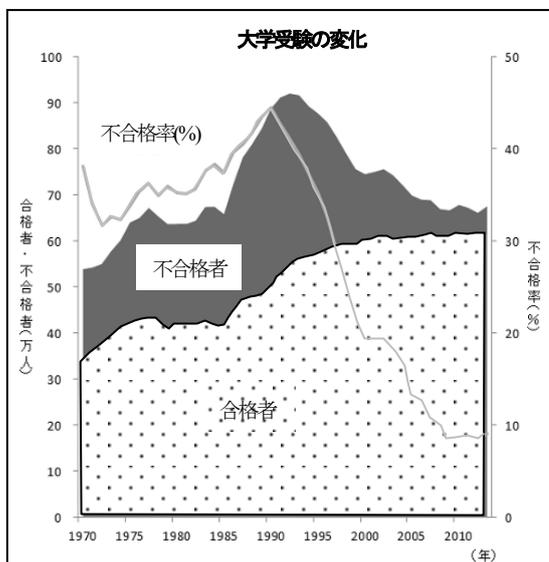
あらゆる生活習慣は、私たちのさまざまなことにつながっているのだと思う結果でした。生活習慣が緩い人は、成果が上がりにくいのかも知れません。

不合格率

前号で「2019年度 大学・短大「現役進学率」は54.8%(男子51.7%、女子57.9%)、専門学校16.3%就職17.5%、専修・各種学校5.1%」とお伝えしました。では、不合格率はどのくらいでしょうか。下のグラフにある通り、2008年度以降大学進学希望者の不合格率は10%を割り込んでいます。大学によっては不合格者が出ない、事実上無試験BF(ホ

ーダー・フリー)、進学先を選ばなければ誰でも大学に進学できる状況もあります。多くの保護者の方が過ごした高校3年生の時とは、かなり様子が違うのではないかと思います。

そうは言っても、高校卒業後の進路決定が人生に大きく影響することは今も同じです。大学4年間と



いう時間を過ごす意義は十分に感じますが、目的をもって進路先を選ぶことは忘れないでください。

生徒に新聞を！

学校再開後、進路室と3年生の全教室に毎朝、新聞が届くようになりました。進路指導部長の藤本先生が発案、交渉し、販売店様の「厚意で毎朝、新聞が届くようになりました。教室には読売・朝日・産経の3紙、進路室にはこれら3紙に日本経済新聞を加えた4紙を閲覧できます。教室では早速担任の先生の声掛けに、新聞の読み方に関心を示した複数の生徒がいました。ネットニュースにはない新聞の意義を、これを機に学んでもらえればと願っています。